



製糖産業の歴史を刻む。
「製糖記念小公園」完成。
関連記事12ページ

町の世帯・人口		平成23年9月30日現在
人口	男	17,414人
	女	17,341人
	計	34,755人
世帯数	13,167世帯	
特定健診の受診状況		平成23年10月15日現在
受診率	19.3%	
平成23年度受診率目標	55%	
目標まであと	2,312人	

今月のトピックス

- 特定健診のお知らせ……………2
- 平成22年度健全化判断比率等の公表…4
- インフルエンザについて……………5
- 西原町立幼稚園園児募集案内…6
- 子ども手当の申請について……………7
- 移動編集局・西原ウィーク……………8
- 西原町男女共同参画町民ミーティング…9
- トーカチ・カジマヤー……………10
- 不動産の公売について……………17
- 新しい農業委員が決まりました…18

特定健診は、あなたの健康の羅針盤

編集・発行／西原町役場 西原町字嘉手刈1-1番地 ☎098(945)5011 印刷／(株)沖産業

公共下水道の普及促進を！

—下水道啓発活動でパレードと戸別訪問を実施—

西原町では公共下水道の普及啓発及び接続率の向上を目指し、9月10日の下水道の日を中心に全庁的な取組を展開、9月9日に「下水道の日」事業推進パレードを、30日に町内の戸別訪問を実施しました。

西原町は平成8年に公共下水道事業が始まり平成14年に供用開始されて以来、整備区域の拡大を図ってきました。しかし、平成23年3月末時点で西原町の接続率は約45%（県平均約88%）と、県を下回る水準です。そこで、公共下水道の接続率向上を平成23年度の施政方針に掲げ、普及啓発の強化にあっています。

今年度は町内の戸別訪問を初めて実施。その出発式で上間明町長は「西原町の下水道普及率はまだまだ低く、公共下水道の接続率向上は喫緊の課題となっている。この取組が町民の理解を求める第一歩。関係者が連携して、下水道の取組を生かしていきたい。」とあいさつしました。また西原町管工事協同組合の呉屋信秀理事長は「公共下水道が普及することで、河川環境が改善し、海や川などの自然環境の保全につながる。美しい西原町を守るため、意義のある仕事。」と意気込みを語りました。



戸別訪問出発式を町役場で開催

事業推進パレードでは西原町・南城市・与那原町・中城村から構成されるパレード隊が、広報車でPRしながら各市町村を回り、戸別訪問には、町三役及び部課長と西原町管工事協同組合の会員が参加。手分けして各世帯を訪問し、パンフレットなどで下水道事業の趣旨を説明。事業への理解を求め、普及啓発を呼びかけました。

下水道に関するお問い合わせ 建設部上下水道課下水道係 ☎945-4934

西原町畜産共進会が開催。西原の母牛が勢ぞろい

西原町の畜産振興の強化を図り、家畜の改良増殖と畜産経営の発展、生産振興に資することを目的に、西原町畜産共進会(同実行委員会主催)が9月14日、あがりティータ公園(字東崎)で開催されました。今年の畜産共進会には町内の畜産農家が生産した牛35頭が出品され、月齢別に分けられた5部門で牛の発育の状況や肉のつき具合などを審査しました。



会場には町内の保育園や幼稚園から園児が見学を訪れ、背丈よりはるかに大きい牛たちを前に、楽しげな表情を浮かべていました。

審査の結果、「みちよ」を出品した宮城正信さん(字小橋川)に西原町長賞が送られました。各部門の優等(1位)牛は次のとおりです。

	字名	出品者	牛の名号
未経産候補	小波津	呉屋 秀信	きたしげ
若雌	1類	幸地	山本 盛一 ひまわり
	2類	小那覇	城間 盛秀 きく
成雌	1類	我謝	桃原 栄一 せそんさま
	2類	小橋川	宮城 正信 みちよ



西原町長賞を受賞した「みちよ」号

あまり見る機会のない牛の列に興味しんしんの園児たち

生活研究会の ま〜さいび〜んどお イモようかん



材料と分量

紅芋・・・300g 黄金芋・・・300g
寒天粉・・・1袋(4g) 砂糖・・・200g
水・・・400cc



作り方

1. 芋は皮をむいて水煮する、紅芋と黄金芋も同じようにする。
2. 寒天粉1袋に水400ccを鍋に入れ沸騰させる。
3. 1、に砂糖200g入れてつぶしておく。
4. 2、に3〜4回に少しずつ芋を入れて混ぜる、よく溶けたら流し箱に流して固め切り分ける。(紅芋、黄金芋も同じようにする)